

～音楽を通じコミュニケーションを楽しもう～

教科・場面

音楽（訪問）

授業・実践のねらい

- ・音や音楽を聴いて自分なりの楽しさを表現する。
- ・自らやってみたいという気持ちを育てる。

対象の児童・生徒

小学部1年 男児

週2回（火・金）10：00～12：00

入学前に体調を崩して入院。入退院を繰り返して、授業ができたのは10月末からとなった。

授業は学年の各教科の授業に準じて行った。

教材・教具

- ・スズラテープをつけたオーガンジーの布
- ・スズラテープをつけたうちわ
- ・フレクサトーン（金属板に小さな玉を取り付けた体鳴楽器に分類される打楽器）

工夫したところ

- ・オーガンジーの布にスズラテープを縫い付け安全面に留意した。軽量で持ち運びしやすい。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

授業展開

1月21日（火）

1. 朝の会
2. 自立活動
3. 音楽

「はじまりのうた」
 「おつかいありさん」
 「北風小僧の寒太郎」
 「アイアイ」

4. 終わりの会

- ・オーガンジーの布

オーガンジーの布の端を本児の腕などに巻くようにする。曲に合わせて布とテープを揺らすようにする。扇風機などで風を送るとテープがたなびく。

- ・うちわ

1本にはスズラテープをつけ本児が持つようにする。もう1本のうちわで教師があおいで風をおこす。

- ・フレクサトーン

片方の親指で金属板を押さえたまま取っ手を握って振り鳴らすようする。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

「北風小僧の寒太郎」では、はじめは映像見て曲を聴いた後、布やうちわを用いた表現活動を行った。繰り返すうちに布を持つ腕が動くなどの表出がみられた。曲に合わせてフレクサトーンを教師が鳴らすと表情を変えずによく聞いているようだった。鳴らし方を変えて音に変化をつけると、笑顔がみられた。